

3章 説明文 対策

ドッグライフカウンセラー検定試験では、「～について4つ（2つ）書きなさい」「～について説明しなさい」という問題が毎回2～4問出題されています。この問題は、教本をきちんと読んでいれば正解できるはずですが、問題を読んでから考え始めますと、「どうしても4つ目が思い浮かばない！」「分かっているけど文章に表現できない！」というふうな時間を浪費してしまいます。そこで、頻繁に出ている問題は、問題を読んだら即答えられるようにしておくといいでしょう。

01. 意味の重複に注意。

～について4つ書きなさいという問題では、意味が同じことをいくつ書いても点数にはなりません。例えば、順位を確認する行動について4つ書く場合、「マウンティング」と、「人間の足に前足をかけて腰を振る。」の2つは、表現は異なりますが意味が同じなので正解は1つにしかありません。

02. 単語だけでの回答は避けましょう。

「説明しなさい」に対して単語だけの回答では説明したことにならず、不正解となります。これは、単語での回答では解釈の仕方が人によって変わるからで、例えば守るべきマナーについて、「ノーリード」だけしか書かなかった場合、ノーリードにするのがマナーなのか、しないのがマナーなのか分かりません。しかも家の中でのノーリードもダメなのかと言われるので、「公共の場ではノーリードにしないようにする。」が正解です。

03. 読める文字。

時間がなく急ぎすぎるあまり、読めないほど雑な文字を書く方もいらっしゃるようです。また、普通の人では解読できないくらい芸術的な達筆で書く方もいらっしゃいます。いずれの場合も、採点員は、この文字を努力して解読しようとはしません。それは、採点する人間が読みやすいようにという気遣いのなさの表れであり、カウンセラーになったときに飼い主さんの気持ちを考えることができないのでは？ と判断されるからです。

04. 説明の順番。

説明の順番は主に、時間的な並びで説明するのが良いでしょう。あなたならどうするかを想像しながら、想像した順番通り説明します。そうすることでポイントを抜かすこともなくなるはずです。